

近畿における MSM に対する検査提供と介入の効果評価

研究分担者：塩野徳史（大阪青山大学 健康科学部看護学科 准教授）
研究協力者：町登志雄（MASH 大阪）、宮田りりい（SWASH/MASH 大阪）
陰山朋久、宮階真紀（公益財団法人エイズ予防財団/MASH 大阪）

研究要旨

大阪地域では大阪市と協働して、コミュニティセンターdistaでの検査会『dista でピタッとちえっくん』、大阪府と協働としたクリニック検査『¥0 性病検査！頼れる街のお医者さん』も継続して実施し、ゆうそう検査機会の拡大も継続した。

dista でピタッとちえっくんの利用者は 171 人で前年度より増加した。HIV 新規陽性者 1 人、梅毒陽性者 8 人であった。¥0 性病検査！頼れる街のお医者さんの利用者は I 期が 134 人利用し、HIV 陽性者 0 人、梅毒陽性者 33 人（新規 5 人）、B 型肝炎陽性者 2 人であった。II 期は 131 人利用し、HIV 陽性者 1 人、梅毒陽性者 38 人（新規 2 人）、B 型肝炎陽性者 2 人であった。昨年度に比べて利用者数は増加した。ゆうそう検査は dista 来場者への配布は 21 人、イベント会場では 29 人が受け取り、WEB では 74 人に配布し、総計 124 キットを配布した。このうち、郵送検査会社での受付数は対面配布が 18 件（36.0%）であり、WEB 配布が 49 件（66.2%）であった。

コミュニティにとっては検査の選択肢を増やすことに繋がっているものの、利用者の増減があり、今後継続していくためにはニーズを把握する必要がある。大阪では HIV、梅毒ともに陽性結果は WEB 配布での利用者からのものであり、これまでリーチしにくかった層に届いている可能性がある。とはいえ、コミュニティセンターdistaがないと個の活動の継続性は見込めず、クリニック検査や dista でピタッとちえっくんでも HIV 陽性の割合が維持されていることから、感染リスクがある人の中でも検査機会の選択肢の利用ニーズは異なる可能性がある。

A.研究目的と背景

先行研究から、HIV 検査の選択肢を増やすことは、検査行動の促進につながるということがいわれている。保健所の HIV 検査は非常に重要であるが、地方都市や平日に保健所

に来所できないクライアントには時間の都合や距離の遠さから不便さも伴う。また令和 2 年 2 月からの新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、保健所での検査提供は 7 割以上減少となっている。この減少を埋めるためにも

新たな検査機会での補完が急務となった。

そこで、大阪地域では自己採血の DBS 検体を送付しスクリーニング検査を受けるよう検査のコミュニティセンターdistaでの対面配布、WEB 配布を実施した。MSM が利用しやすい HIV・梅毒の検査の選択肢を増やし、期間集中で配布を実施し、検査普及における有効性の評価を行う。また大阪地域では大阪市と協働して、コミュニティセンターdistaでの検査会『dista でピタッとちえっくん』、大阪府と協働としたクリニック検査『¥0 性病検査！頼れる街のお医者さん』も継続して実施した。

B.研究方法

コミュニティセンターdistaでの検査会『dista でピタッとちえっくん』の方法は大阪市と協働し、過去に報告した内容と同様の方法で行った。今年度は曜日を固定し、隔月で6回の検査を行った。

大阪府、大阪健康安全基盤研究所と協働としたクリニック検査『¥0 性病検査！頼れる街のお医者さん』は2022年8月22日～9月30日(1期)、2022年11月1日～12月17日(2期)で実施し、MASH大阪は広報を担った。

郵送検査キットは、コミュニティセンターdistaでの受け取り、イベント会場などでの受け取り、WEBでの受け取りの3つの方法で配布した。

なお、本研究は名古屋市立大学看護学部研究倫理審査委員会に設置された倫理審査委員会により承認を得た。

C.研究結果

1) dista でピタッとちえっくんの概要

今年度も外国人向けに通訳も配置し、気軽に立ち寄れる雰囲気配慮した。採血の際や結果受取時の不安等、検査の前や後の相談を行っており、初めての人やこれまで情報を届けられなかった層においては性感染症に関する知識や情報を提供できる機会も設けた。利用者は171人で前年度より増加した。HIV新規陽性者1人、梅毒陽性者8人であった。

2) ¥0 性病検査！頼れる街のお医者さんの概要

I期が134人利用し、HIV陽性者0人、梅毒陽性者33人(新規5人)、B型肝炎陽性者2人であった。II期は131人利用し、HIV陽性者1人、梅毒陽性者38人(新規2人)、B型肝炎陽性者2人であった。昨年度に比べて利用者数は増加した。

3) 検査キットの配布日・配布件数

2022年7月から11月までの間にdista来場者への配布は21人、イベント会場では29人が受け取り、WEBでは74人に配布し、総計124キットを配布した。このうち、郵送検査会社での受付数は対面配布が18件(36.0%)であり、WEB配布が49件(66.2%)であった。

4) 検査キット検体の送付状況とアンケートの結果

アンケートに回答したもので有効回答であったのは125人であった。また実際に検体を郵送会社に郵送したものは67人であった。そのうち98.5%が結果にログインしていた。HIV陽性件数は2件(推定新規陽性率3.0%)、梅毒の陽性件数は17件(既感

染も含む) (推定新規陽性率 13.4%) であつた。

表 1 郵送検査利用者の概要

	地域	大阪
	CBO	mash大阪
	コミュニティセンター	dista
a 配布数		124
対面配布数		50
WEB配布数		74
b 受検者アンケート回答者数		103
c 利用者数; 郵送検査会社での受付数		67
対面配布数(c対面/a対面)		18 (36.0%)
WEB配布数(cWEB/aWEB)		49 (66.2%)
利用率計; 配布数に占める利用者数(c/a)		54.0%
d 結果確認者数; 結果画面のログイン記録 (割合 d/c)		66 (98.5%)
抗体検査結果		*重複感染 (1名)
<input type="checkbox"/> HIV感染症		
e 判定不能者数 (割合 e/c)		0 (0.0%)
f 陽性数 (割合 f/c)		2 (3.0%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		2.0 (3.0%)
<input type="checkbox"/> 梅毒		
g 判定不能者数 (割合 g/c)		0 (0.0%)
h 陽性数 (割合 h/c)		17 (25.4%)
推定 新規陽性者数 (新規陽性率) *		9.0 (13.4%)
i 追跡可能者数; 無料ID使用者数 (割合 i/c)		41 (61.2%)
j 事後アンケート回答者数 (割合 j/c)		57 (85.1%)
k 追跡可能な事後アンケート回答者数 (割合 k/c)		37 (55.2%)

* 新規陽性者の推定は、j)追跡可能者実数における既往を除く陽性率をもとに新規陽性率を算出し、(利用者数-判定不能者数)に乗じて求めた。

** すべての集計より再受検 (5名) の重複は除いた。

連動可能であった人数は少ないが、郵送検査利用者の属性については、対面配布かつ ID 連結の同意を得た 14 人においては、30 歳未満が 7.1%を占めた。近畿地域の居住者が 85.7%であった。生涯初の検査経験割合は 0.0%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のうち 14.3%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 28.5%を占めた。

WEB 配布かつ ID 連結の同意を得た 27 人においては、30 歳未満が 37.0%を占めた。近畿地域の居住者が 70.4%であった。生涯初の検査経験割合は 29.6%であった。過去 1 年の検査経験がなかったものは全体のう

ち 70.4%であった。MSM 対象の予防啓発やコミュニティセンターのことをあまり知らなかった人は 44.4%を占めた。

D.考察

dista でピタッとちえっくんの利用者は 171 人で前年度より増加した。HIV 新規陽性者 1 人、梅毒陽性者 8 人であった。¥0 性病検査! 頼れる街のお医者さんの利用者は I 期が 134 人利用し、HIV 陽性者 0 人、梅毒陽性者 33 人 (新規 5 人)、B 型肝炎陽性者 2 人であった。II 期は 131 人利用し、HIV 陽性者 1 人、梅毒陽性者 38 人(新規 2 人)、B 型肝炎陽性者 2 人であった。昨年度に比べて利用者数は増加した。ゆうそう検査は dista 来場者への配布は 21 人、イベント会場では 29 人が受け取り、WEB では 74 人に配布し、総計 124 キットを配布した。このうち、郵送検査会社での受付数は対面配布が 18 件 (36.0%) であり、WEB 配布が 49 件 (66.2%) であった。

コミュニティにとっては検査の選択肢を増やすことに繋がっているものの、利用者の増減があり、今後継続していくためにはニーズを把握する必要がある。

大阪では HIV、梅毒ともに陽性結果は WEB 配布での利用者からのものであり、これまでリーチしにくかった層に届いている可能性がある。とはいえ、コミュニティセンターdistaがないと個の活動の継続性は見込めず、クリニック検査や dista でピタッとちえっくんでも HIV 陽性の割合が維持されていることから、感染リスクがある人の中でも検査機会の選択肢の利用ニーズは異なる可能性がある。

E.結論

新型コロナウイルス感染症に伴う自粛や休業に対応しながらのゆうそう検査であったが、他の検査機会を失うことなく、進行した。

今後クリニック検査やセンターで実施している検査提供プログラムと棲み分け法も考えつつ最適な検査提供モデルを検討していく必要がある。

F.研究発表

1.論文発表

- 1) Noriyo Kaneko, Satoshi Shiono, Adam O. Hill, Takayuki Homma, Kohta Iwahashi, Masao Tateyama, Seiichi Ichikawa: Correlates of lifetime and past one-year HIV-testing experience among men who have sex with men in Japan, *AIDS Care*, 2020.DOI: 10.1080/09540121.2020.1837339
- 2) 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. *日本エイズ学会誌*, 23(2), 2021.
- 3) 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象

とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. *日本エイズ学会誌*, 23(1), 18-25, 2021.

- 4) 金子典代, 塩野徳史: MSM を対象にした当事者主体の HIV 検査の取り組みと意義. *日本エイズ学会誌*, 22(3), 136-146, 2020.

2.学会発表 (国内)

- 1) 塩野徳史. 日本のセクシュアルヘルスと予防啓発 -社会が担う役割-. *日本エイズ学会 2022 年 浜松*.
- 2) 塩野徳史. コミュニティにおけるコンドーム使用行動と PrEP 利用. *日本エイズ学会 2022 年 浜松*.
- 3) 塩野徳史. コミュニティと予防介入の新たな戦略. *日本エイズ学会 2021 年 東京*.
- 4) 塩野徳史. HIV 予防とヘルスリテラシー. *日本エイズ学会 2020 年 千葉*.

G.知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

- | | |
|----------|----|
| 1.特許取得 | なし |
| 2.実用新案登録 | なし |
| 3.その他 | なし |

表2 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者概要

	アンケート		ID使用				ID不使用		合計	Pearson カイ2乗	
	回答のみ		対面配布		WEB配布		対面配布				WEB配布
配布CBO											
mash大阪/dista (大阪)	62	100.0%	14	100.0%	27	100.0%	22	100.0%	125	100.0%	
年齢階級											
29歳以下	18	29.0%	1	7.1%	10	37.0%	3	13.6%	32	25.6%	0.13
30-39歳	24	38.7%	7	50.0%	11	40.7%	10	45.5%	52	41.6%	
40-49歳	7	11.3%	3	21.4%	4	14.8%	8	36.4%	22	17.6%	
50-59歳	10	16.1%	3	21.4%	1	3.7%	1	4.5%	15	12.0%	
60歳以上	3	4.8%	0	0.0%	1	3.7%	0	0.0%	4	3.2%	
合計	62	100.0%	14	100.0%	27	100.0%	22	100.0%	125	100.0%	
性別											
男性	60	96.8%	14	100.0%	27	100.0%	22	100.0%	123	98.4%	0.91
女性	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
トランスジェンダー	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	
その他	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	
合計	62	100.0%	14	100.0%	27	100.0%	22	100.0%	125	100.0%	
居住地											
北海道	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0.91
東北	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	
北関東	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
東京	4	6.5%	1	7.1%	1	3.7%	1	6.3%	7	5.9%	
南関東	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	2	1.7%	
甲信越	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
北陸	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	0	0.0%	1	0.8%	
東海	1	1.6%	0	0.0%	1	3.7%	0	0.0%	2	1.7%	
近畿	50	80.6%	12	85.7%	19	70.4%	12	75.0%	93	78.2%	
中国	4	6.5%	1	7.1%	4	14.8%	1	6.3%	10	8.4%	
四国	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%	
九州	0	0.0%	0	0.0%	1	3.7%	1	6.3%	2	1.7%	
沖縄	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
合計	62	100.0%	14	100.0%	27	100.0%	16	100.0%	119	100.0%	
セクシュアリティ											
ゲイ (男性同性愛)	49	79.0%	9	64.3%	20	74.1%	13	81.3%	91	76.5%	0.23
バイセクシュアル	5	8.1%	4	28.6%	6	22.2%	1	6.3%	16	13.4%	
その他	8	12.9%	1	7.1%	1	3.7%	2	12.5%	12	10.1%	
合計	62	100.0%	14	100.0%	27	100.0%	16	100.0%	119	100.0%	

表3 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 利用者属性

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計 n=103	Pearson カイ2乗
	回答のみ n=62		対面配布 n=14	WEB配布 n=27	対面配布	WEB配布		
国籍								
日本	61	98.4%	14	100.0%	27	100.0%	102	99.0%
アジア	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
欧米	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
あなたが住まいの地域はどのような地域ですか？（年度により質問対象を変更したため、総数と異なる）								
中心市街地	29	46.8%	6	42.9%	14	51.9%	49	47.6%
郊外住宅地	28	45.2%	8	57.1%	13	48.1%	49	47.6%
農村地域・漁村地域	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%
山間部	4	6.5%	0	0.0%	0	0.0%	4	3.9%
離島	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
居住形態								
独居	39	62.9%	5	35.7%	16	59.3%	60	58.3%
同居	23	37.1%	9	64.3%	11	40.7%	43	41.7%
定住先はない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
今回を除いて、これまでにHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？								
ある	37	59.7%	14	100.0%	19	70.4%	70	68.0%
ない（今回が初めての検査）	25	40.3%	0	0.0%	8	29.6%	33	32.0%
今回を除いて、過去1年間にHIV検査（エイズ検査）を受けたことがありますか？								
ある	17	27.4%	12	85.7%	8	29.6%	37	35.9%
ない	45	72.6%	2	14.3%	19	70.4%	66	64.1%
過去1年の受検場所（複数回答）								
保健所	5	8.1%	3	21.4%	0	0.0%	8	7.8%
病院/クリニック	7	11.3%	5	35.7%	2	7.4%	14	13.6%
郵送検査	8	12.9%	5	35.7%	6	22.2%	19	18.4%
その他	5	8.1%	4	28.6%	1	3.7%	10	9.7%
1年間にない	20	32.3%	2	14.3%	11	40.7%	33	32.0%
これまでにない	25	40.3%	0	0.0%	8	29.6%	33	32.0%
過去1年間に、各地域でNGOや予防啓発を行う団体が配布している郵送検査キットを受け取って利用したことがありますか？								
受け取っていない	55	88.7%	8	57.1%	19	70.4%	82	79.6%
受け取ったけど、利用していない	2	3.2%	2	14.3%	2	7.4%	6	5.8%
受け取って、利用した	5	8.1%	4	28.6%	6	22.2%	15	14.6%
過去6カ月に、以下の施設を利用しましたか？（複数回答）								
ゲイバー	15	24.2%	8	57.1%	9	33.3%	32	31.1%
ゲイイベント	7	11.3%	5	35.7%	2	7.4%	14	13.6%
ゲイショップ	2	3.2%	4	28.6%	1	3.7%	7	6.8%
有料のハッテン場	25	40.3%	8	57.1%	9	33.3%	42	40.8%
野外のハッテン場	6	9.7%	2	14.3%	4	14.8%	12	11.7%
いずれもない	26	41.9%	0	0.0%	10	37.0%	36	35.0%
過去6カ月に、恋人や友達、セックスする相手をさがすために、以下のSNSや掲示板を利用しましたか？（複数回答）								
Twitter	28	45.2%	8	57.1%	8	29.6%	44	42.7%
Instagram	4	6.5%	1	7.1%	2	7.4%	7	6.8%
VERO	5	8.1%	1	7.1%	4	14.8%	10	9.7%
9monsters	52	83.9%	9	64.3%	23	85.2%	84	81.6%
Men's Net Japan	2	3.2%	5	35.7%	4	14.8%	11	10.7%
KO-MENSTV	5	8.1%	1	7.1%	1	3.7%	7	6.8%
その他	4	6.5%	2	14.3%	2	7.4%	8	7.8%
いずれもない	4	6.5%	2	14.3%	1	3.7%	7	6.8%
あなたは男性同性愛者対象の予防啓発の取り組みやコミュニティセンターを知っていますか？								
よく知っている	5	8.1%	3	21.4%	1	3.7%	9	8.7%
少し知っている	17	27.4%	7	50.0%	14	51.9%	38	36.9%
あまり知らない	28	45.2%	3	21.4%	11	40.7%	42	40.8%
全く知らない	12	19.4%	1	7.1%	1	3.7%	14	13.6%
過去6カ月に男性とセックスをしたことがありますか？								
ある	52	83.9%	14	100.0%	26	96.3%	92	89.3%
ない	10	16.1%	0	0.0%	1	3.7%	11	10.7%

表4 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 性行動・予防行動

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ	n=52	対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布		
過去6か月間に、セックスをした相手は、以下のどれにあてはまりますか？（複数回答）								
彼氏や恋人	7	13.5%	4	28.6%	2	7.7%	13	14.1% 0.19
友達やセクフレ	37	71.2%	11	78.6%	20	76.9%	68	73.9% 0.79
その場限りの相手	35	67.3%	10	71.4%	16	61.5%	61	66.3% 0.80
その他	1	1.9%	1	7.1%	0	0.0%	2	2.2% 0.33
過去6か月間に、インターネットやSNS、アプリを使って出会った人とセックスをしたことがありますか？								
ある	46	88.5%	11	78.6%	23	88.5%	80	87.0% 0.60
ない	6	11.5%	3	21.4%	3	11.5%	12	13.0%
過去6か月間に、ハッテン場でセックスをしたことがありますか？								
ある	24	46.2%	7	50.0%	9	34.6%	40	43.5% 0.54
ない	28	53.8%	7	50.0%	17	65.4%	52	56.5%
過去6か月間に、複数人（3人以上）で同時にセックスをしたことがありますか？								
ある	18	34.6%	3	21.4%	4	15.4%	25	27.2% 0.17
ない	34	65.4%	11	78.6%	22	84.6%	67	72.8%
過去6か月間に、相手にお金を払ってセックスをしたことがありますか？								
ある	6	11.5%	1	7.1%	1	3.8%	8	8.7% 0.51
ない	46	88.5%	13	92.9%	25	96.2%	84	91.3%
過去6か月間に、相手からお金をもらってセックスをしたことがありますか？								
ある	1	1.9%	2	14.3%	1	3.8%	4	4.3% 0.13
ない	51	98.1%	12	85.7%	25	96.2%	88	95.7%
過去6か月間に、セックスのときにドラッグ（ラッシュ、ゴメオ、MDMA、大麻、覚せい剤、脱法ドラッグ）を使用したことがありますか？								
ある	1	1.9%	1	7.1%	0	0.0%	2	2.2% 0.33
ない	51	98.1%	13	92.9%	26	100.0%	90	97.8%
過去6か月間のコンドーム使用状況								
非常用	47	90.4%	11	78.6%	23	88.5%	81	88.0% 0.48
常用	5	9.6%	3	21.4%	3	11.5%	11	12.0%

	アンケート		ID使用		ID不使用		合計	Pearson カイ2乗
	回答のみ	n=62	対面配布	WEB配布	対面配布	WEB配布		
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」について知っていますか？								
とてもよく知っている	13	21.0%	6	42.9%	5	18.5%	24	23.3% 0.08
聞いたことはある	40	64.5%	7	50.0%	22	81.5%	69	67.0%
まったく知らない	9	14.5%	1	7.1%	0	0.0%	10	9.7%
「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」を服薬したいと思いますか？								
服薬したくない/どちらかといえば	18	29.0%	4	28.6%	7	25.9%	29	28.2% 0.69
服薬したい/どちらかといえば	41	66.1%	10	71.4%	20	74.1%	71	68.9%
HIV陽性/無効	3	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.9%
過去6か月間に「HIV感染予防のためのセックス前の服薬（PrEP,プレップ）」を服薬したことがありますか？								
ない	51	82.3%	11	78.6%	24	88.9%	86	83.5% 0.57
ある	8	12.9%	3	21.4%	3	11.1%	14	13.6%
HIV陽性/無効	3	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.9%
これまでにかかったことがある性感染症はありますか？（複数回答）								
梅毒	11	17.7%	4	28.6%	4	14.8%	19	18.4% 0.55
A型肝炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
B型肝炎	5	8.1%	1	7.1%	1	3.7%	7	6.8% 0.75
C型肝炎	1	1.6%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0% 0.72
クラミジア	14	22.6%	3	21.4%	4	14.8%	21	20.4% 0.70
尖圭コンジローマ	3	4.8%	1	7.1%	1	3.7%	5	4.9% 0.89
淋病	5	8.1%	2	14.3%	4	14.8%	11	10.7% 0.57
HIV感染症	3	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.9% 0.36
赤痢アメーバ	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
毛じらみ	12	19.4%	1	7.1%	5	18.5%	18	17.5% 0.55
性器ヘルペス	2	3.2%	1	7.1%	1	3.7%	4	3.9% 0.79
その他	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%	1	1.0% 0.04
いずれもない	31	50.0%	7	50.0%	14	51.9%	52	50.5% 0.99

表5 郵送検査キット配布方法とIDの利用状況別 事後アンケートの結果

アンケート 回答のみ	ID使用		ID不使用		合計 n=53	Pearson カイ2乗
	対面配布 n=14	WEB配布 n=23	対面配布	WEB配布 n=16		
事後アンケート この検査キットをどこで受け取りましたか？ (R5年度)						
コミュニティセンターで	14 100.0%	0 0.0%		0 0.0%	14 26.4%	<0.01
デジタル・ディスプレイで	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	
検査キット配布会場で	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	
インターネットのWEBページで	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	
商業施設・ゲイ向けイベント等で	0 0.0%	21 91.3%		16 100.0%	37 69.8%	
その他	0 0.0%	1 4.3%		0 0.0%	1 1.9%	
無回答	0 0.0%	1 4.3%		0 0.0%	1 1.9%	
事後アンケート 郵送検査キットをこれまでに何回利用したことがありますか？ (R5年度)						
今回がはじめて	6 42.9%	13 56.5%		11 68.8%	30 56.6%	0.49
何度か利用した	8 57.1%	9 39.1%		5 31.3%	22 41.5%	
無回答	0 0.0%	1 4.3%		0 0.0%	1 1.9%	
事後アンケート 指先からの採血は簡単でしたか？						
簡単だった	9 64.3%	14 60.9%		11 68.8%	34 64.2%	0.39
どちらでもない	3 21.4%	1 4.3%		3 18.8%	7 13.2%	
難しかった	2 14.3%	6 26.1%		2 12.5%	10 18.9%	
無回答	0 0.0%	2 8.7%		0 0.0%	2 3.8%	
事後アンケート 今回、ゆうそう検査を使ってみていかがですか？理由も教えてください。(R5年度)						
とても満足している	7 50.0%	11 47.8%		10 62.5%	28 52.8%	0.86
まあ満足している	6 42.9%	8 34.8%		5 31.3%	19 35.8%	
あまり満足していない	0 0.0%	1 4.3%		0 0.0%	1 1.9%	
全く満足していない	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	
無回答	1 7.1%	3 13.0%		1 6.3%	5 9.4%	
事後アンケート 仮に、今回の検査でHIV抗体検査の結果が「要確認」となった場合、あなたはどうしますか？						
保健所を利用	5 35.7%	13 56.5%		7 43.8%	25 47.2%	0.54
公的な検査機関を利用	5 35.7%	5 21.7%		7 43.8%	17 32.1%	0.65
クリニックを利用	8 57.1%	9 39.1%		2 12.5%	19 35.8%	0.09
何もしない	0 0.0%	0 0.0%		0 0.0%	0 0.0%	
その他	0 0.0%	0 0.0%		1 6.3%	1 1.9%	0.57

大阪地域MSMを対象 とした予防啓発活動

MASH大阪／コミュニティセンターdista

協力者名

塩野 徳史

町 登志雄

宮階 真紀

陰山 朋久

日時：3月4日（土）13:00～18:00
3月5日（日）09:30～17:00
場所：東京都新宿区新宿 4-3-25 TOKYU REIT
新宿ビル7階 コンフォート新宿

1

地域の商業施設数と連携

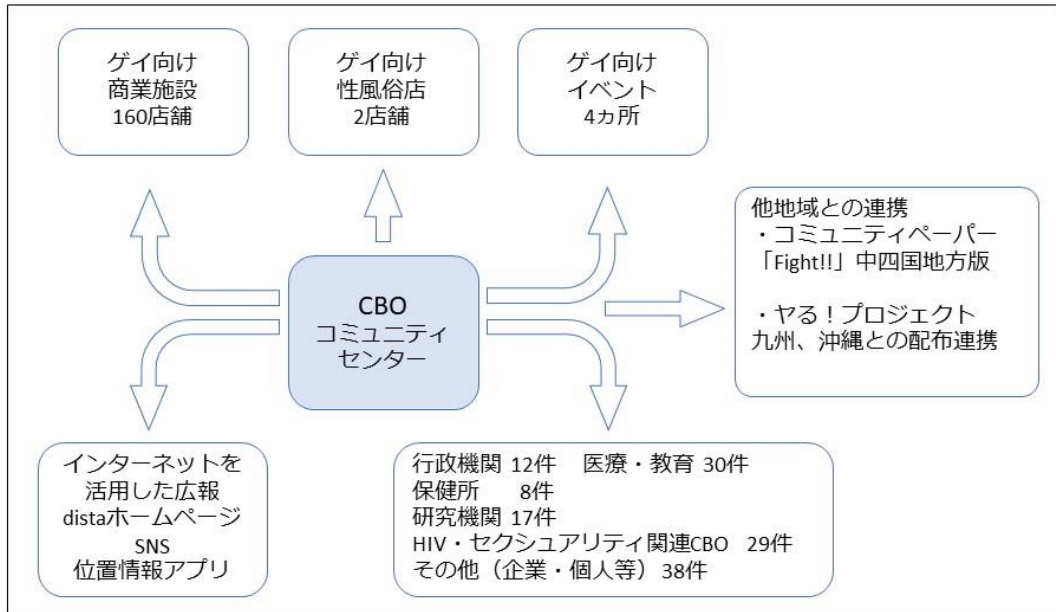
2022年度1月末時点

	地域の店舗数	連携店舗数	備考
ゲイバー	247	137	
有料ハッテン場	18	14	
ゲイナイト	24	4	
ウリ専	33	1	
ゲイショップ	17	7	
マッサージ	72	1	
パレード	1	1	
スマホアプリ	23	3	
ウェブサイト	10	0	
ゲイサークル	17	1	

2

普及啓発活動の状況

2022年度1月末時点



3

コミュニティセンターの活動状況

2022年度1月まで

運営スタッフ数	: 常勤 1人
	非常勤 4人、ボランティア 約10人/月
開館曜日	: 水曜日～日曜日(週5日)
開館時間	: 17時～22時
	※土曜日・祝日等イベント時は翌朝5時まで開館
総来場者数*	: 2264名 (前年度比 33.3%増)
初来場者数*	: 445名(19.6%) (前年度比 51.8%増)
相談件数*	: 178件(うち、セクシュアルヘルスに関する相談124件)

センターにおけるプログラムの展開:
 NOT ALONE CAFÉ(外国人向け・カフェ) / kinky cafe(カフェ&展覧会・全般) / CAMP!(カフェ・全般) / サロン・ド・オニ(カフェ・全般) / 同志中国語講座(講座・全般) / あんによんハングル(講座・全般) / 漫研(講座・全般) / LGBTのためのストレスフリーワークショップ(講座・全般) / 南界堂茶会(講座・全般) / レインボーアディクションミーティング(講座・全般) / レインボーグリーンミーティング(講座・全般)

4

コミュニティセンターの活動状況

2022年度1月まで

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計
来場者数	204	303	250	280	156	227	211	206	210	217	2264
来場者数 新規	35	29	33	84	21	62	44	53	33	51	445
相談件数	7	34	5	45	4	16	9	12	12	34	178



5

ゲイ向け商業施設へのアウトリーチ活動

プログラムの目的：コミュニティセンターの周知とHIV感染症・エイズに関する啓発活動の可視化
 対象：大阪地域におけるゲイ向け商業施設利用者
 予算：コミュニティセンター事業費
 実施内容：大阪地域におけるゲイ向け商業施設利用者に向け、当事者参加型の資材配布活動

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
セクシュアルヘルス・HIV検査機関や医療機関の情報誌	3,120	3,340		3,657	2,983	中止	3,200	2,898	680	4,268
イベント情報資材				159	3,297		4,000	6,118	1,590	3,180
検査会情報資材	8,736		3,580	2,385	157		6,400		3,180	

参加ボランティア数：延べ101人
 累計配布物数：29種類、69,911部
 配布：MSM向け商業施設約160店舗、大阪府・市のエイズ対策担当課、地域のコミュニティセンター、保健所、クリニック、関連団体ほか140件、計300件。
 対面での配布によってセンターの認知や雰囲気を変え、利用者の誘致や予防啓発普及に繋がった。

6

南界堂通信

プログラムの目的・必要性：

中高年層MSMが経てきたHIV感染者に対する偏見・差別や当事者の意識のありようを踏まえ、彼らが抱える課題やライフプラン、人生や社会との関わりについての情報、街の情報に加え、セクシュアルヘルスに関する情報、HIV感染者及びその周囲の人たちに必要な情報、HIV検査機関や医療機関の情報などを収集し掲載。世代的に親しみのあるタブロイド判で作成。年4回季刊発行。distaにて関連イベント「南界堂茶会」年2回開催。
対象となる人や施設：中高年層が主な対象層。商業施設利用者



実施内容（資材・WEB展開）：

紙資材は商業施設や行政へのアウトリーチや郵便送付で設置。distaホームページにPDFも掲載。今年度よりTwitter「南界堂通信」アカウント開設。
医療や行政に関わる人、コミュニティやゲイタウンのキーパーソンをインタビュー形式で取り上げることでプログラムや街により馴染みを感じてもらえる。食や文化の情報によって孤立や閉塞を防ぐことに繋がるよう発信。



結果：

実施日時）年4回発行。
配布数）4,000部/回 MSM向け商業施設約160店舗、大阪府・市のエイズ対策担当課、地域のコミュニティセンター、保健所、クリニック、関連団体ほか140件、計300件。
実施した反応）：今年度は、大阪医療センターの医師と連携し、注射療法について取り上げた。またサル痘など、今話題の情報をアップデートし発信することが出来た。

7

distaでピタッとちえっくん！

プログラムの目的・必要性：HIV検査会をコミュニティセンターで行うことで、定期的な検査機会の推進をコミュニティに根付かせ、ゲイコミュニティにおける検査意識を高める。

対象となる人や施設：dista利用者や関西地域に住まうMSM
予算：地方行政事業費



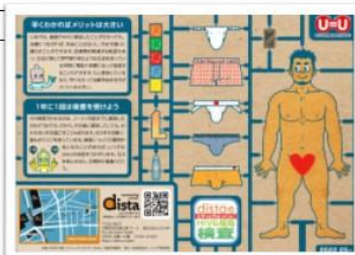
実施内容（資材・WEB展開）：

大阪市、大阪健康安全基盤研究所と協働し、無料・匿名でHIV/梅毒検査を実施。外国人向けに通訳も配置し、気軽に立ち寄れる雰囲気配慮した。採血の際や結果受取時の不安等、検査の前や後の相談を行っており、初めての人やこれまで情報を届けられなかった層においてはきちんとした知識を提供する事の出来る機会を設けた。



結果：

実施期間：毎奇数月（年6回）
受検者数：134名
HIV陽性：1名
梅毒要治療：8名
※2023年1月末時点



8

ゼロイン ¥0性病検査！街の頼れるお医者さん

プログラムの目的・必要性：

大阪府内のH I Vの感染リスクが高いとされるMSMのH I V等検査の受検機会の拡大を図るために実施する「男性同性愛者向けH I V等検査・相談事業」について、WEBサイトの作成及びアプリ広告掲載等の広報を行う。
対象となる人や施設：dista利用者や関西地域に住まうMSM
予算：コミュニティセンター事業費 / 地方行政事業費 / 寄付金



実施内容（資材・WEB展開）：

大阪府、大阪健康安全基盤研究所、クリニック・診療所と協働で実施しているキャンペーンの情報、検査前後等の相談や支援の情報、検査の流れや検査方法の違いなどを記載した資材及びWebサイトを作成しアウトリーチやバナー広告掲載などの広報を行った



結果：

実施期間：2022年8月22日～9月30日（1期）、2022年11月1日～12月17日（2期）

検査実施医療機関：大阪府外も含む13医療機関

受検者数：1期 134件
2期 131件

ゼロイン ¥0性病検査!
頼れる街のお医者さん



9

ゆうそう検査の取組み

プログラムの目的・必要性：

対象となる人や施設：dista利用者や関西地域に住まうMSM

研究班以外の投入資源：コミュニティセンター事業費 / 寄付金



実施内容（資材・WEB展開）：

今年度は新たに啓発ポスターを作成しゲイ向け風俗店にもアプローチした。またアプリでのバナー広告、twitterでの広報や若年層向け啓発資材「いくナビ」（MASH大阪寄付金制作）に情報を掲載し広報強化に努めた。
配布方法：例年までは、TwitterのDM対応やdista利用者に声掛けをしていたが、キットの説明等、休館日にも対応していた為、負担が大きかった。そのため今年度は専用サイトを作成し、スムーズに検体を受け取る取組みを行った。



配布期間：2022年7月～11月

結果：

dista受取	イベント受取	Web受け取り	合計	HIV陽性	梅毒陽性
21	29	74	124	2名 (3.0%)	17名 (25.4%)

10

専門家による相談会（しゃべるかあ）

プログラムの目的・必要性：

distaを訪れた利用者に対して、専門家と気軽な雰囲気に関わり、その人が抱えている日々の困りごとや問題を明らかにする。また抱えている課題の事例を集める。
対象となる人や施設：dista利用者や関西地域に住まうMSM
予算：地方行政事業費



実施内容（資材・WEB展開）：

distaでは京都府と協働し、医療専門家による相談会を実施。センターにおける専門家による対面相談支援は、セクシュアリティやメンタルヘルスに関する相談が多く、カウンセリングすることにより、行動変容を促進し、メンタルヘルスの向上とHIV・エイズ及び他の感染症の拡大防止をする。



結果：

実施期間：3回/月 9月～12月の間実施
参加者：25名 オンライン参加：12名（合計37名）

実施した反応：昨年は日常の変化で人との交流や行動の制限がありストレスを訴える相談が主な内容であったが、今年度に関して、仕事に慣れ自身がついてきた事や、恋愛に関する相談がありリピーターによる近況報告が見られた。相談者にとって利用しやすい資源として認知されたものと思われる。

11

やる！プロジェクト

プログラムの目的・必要性：

研究班と協働で行ったアンケート調査にて大阪地域におけるコンドーム使用率は2010年以降、年々低下しているが、コロナ禍においても性行動は減退していないことが指摘されている。そのため感染予防行動を促進するためのプロモーションを実施。

対象となる人や施設：dista利用者や関西地域に住まうMSM
予算：コミュニティセンター事業費



実施内容（資材・WEB展開）：

ポスターやポストカード資材ともに、オリジナルコンドームとローションなどを作成し、ゲイ向け商業施設に配布した。資材の配布と同時にdistaの展覧会イベントと連動させて訴求効果の向上を計った。また、クラブイベントと協働しU=Uの資材やPrEP、サル痘にまつわるトークショーの実施を企画した。



結果：展覧会イベントについては次ページ

配布数）大阪：2,338セット
福岡：125セット
沖縄：500セット

反応）今年度は、香り付きのフレーバーコンドームや自分に合ったサイズのコンドームを確認できるような測定器の役割をした作成し興味を引くようなものにした。

12

なにわのゴムふえす

プログラムの目的・必要性：
 コンドーム常用行動の促進を計るため、
 コンドームが身近にある事が発見できるような
 参加型の展覧会を実施した。
 対象となる人や施設：dista利用者や関西地域に住まうMSM
 予算：コミュニティセンター事業費



実施内容（資材・WEB展開）：
 堂山町、ミナミ、新世界のゲイタウンマップを使い
 近辺でどこで、どんなコンドームが手に入るのか
 ビジュアル的に解る展示や、サイズ、厚さ、イボイボなど様々なコンドームを手
 とって実際に触れてみることで出来るようなコーナーを設け、いつもは知らない
 コンドームに出会える様な展示会を大阪エイズウィークスに合わせ実施した。

実施日程：2022年11月16日（水）～12月25日（日）
 総来場者数：247名
 反応：参加者の声として、こんなにたくさんのコンドームの種類があるのは初めて
 知った、素材によってフィットしやすい等の情報が知れて来てよかったと思った。
 など、コンドームの情報が知れる機会がもっとあればいいのとの声もあり、イベ
 ント的に実施してもよいのかなと感じた。また、NHKからの取材依頼もあり多くの
 反響がある展示会となった。

2023年度：活動のミッション

活動のミッションや目標：
 2023年度からは、コンピネーション・プリベンションを意識して、特に若年層や性的に活発な層に対
 してコンドーム使用行動の促進に焦点をあてたプログラムを展開する（コンドームアウトリーチの復
 活等）。検査についてはPrEPの見守り環境の整備を踏まえて、従来の検査機会の提供を継続する。

